

観光問題

問 観光局分担金は、年度毎に処理は

答 会計事務所の指導で、再度相談を



太田 修 議員

【新たな観光事業への取り組みと役割分担について】

観光局の分担金額の決定と事務処理は。

村長 し、理事会の協議を経て社員総会に提案し承認を得ています。請求を8月に行い、9月と12月の2回の分納ですが、納入時期が遅れるケースもあり、実際の納入期に計上処理しています。

問 収入年度が異なるので、年度毎に未収入金処理をすべきでは。

村長 会計事務所の指導で行っていますが、再度相談します。

問 局の組織形態の検討と事業方針は。事業計画の重点事項として「観光局の組織に

関する検討」を掲げております。観光振興計画の目標に沿って具体的な事業を推進し、中心的な役割を果たす組



白馬駅前 おやすみ処「ヨッテカン」

織として、行政と局の役割分担も併せて検討します。

問 局スタッフの身分が異なることの問題点と窓口職員の配属は。

村長 社員数は13名で、局職員5名、臨時・契約職員2名、民間企業派遣4名、役場派遣・兼職2名で、観光分野は人材の継続的な確保や人との繋がりが大切です。厳しい経済状況の中で企業派遣者の懸念や、役場職員の派遣は3年以内で、本人の同意を得ても最長5年までと法律で定めており、継続的な人材確保の仕組みを検討します。窓口職員は事務所の電話応対や商品企画等の業務を行います。

問 駅前案内所の利活用は。

村長 白馬町区有志による7月1日から9月末までの毎日、10月1日から11月末までの土日、祝祭日の11日間、午前9時から4時までの2人体制で運営します。お客様が気軽に立ち寄れる、お茶のサービスや写真・絵画展、地場産品コーナー等を行います。

問 オリンピック記念館等の今後の方針は。

村長 敷地は賃借契約の終了後返却し、ジャンプ競技場内に設ける構想で新たな展示施設が完成するまで休館します。

【共生型観光地づくりについて】

問 外国人居住者や旅行者と共生できる国際観光都市を目指し、ルールづくりが必要では。

村長 外国人旅行者によるトラブルも多く発生している、来シーズンに向け警察署や防犯関係者、観光関係者等を交えて具体的な対策等の検討を進め実行します。宿泊施設等の無許可営業の声も聞かれ、県の協力をいただきながら実態把握に努めます。外国人居住者には、英語版の「生活ガイド」を配布していますが、内容等を改善し周知を図ります。